

ただのかかしの時代はもう終わった？

昔から人々が知恵をはたらかせ、鳥獣対策のために設置されてきたかかし。現代の状況の変化に対応した新しいかかしとは...



そもそもかかしとは？

語源は「嗅がし」とされ、獣肉や髪の毛などを焼き焦がして、**悪臭**で鳥獣を追い払う方法。古典的には**竹や藁で造った人形**で、人のおい付き衣服などを着用させ**人がいる**ように偽装。文化や風習に基づいたかかしは**五穀豊穡の祈願神**ともされてきた。

現代の鳥獣対策における問題点

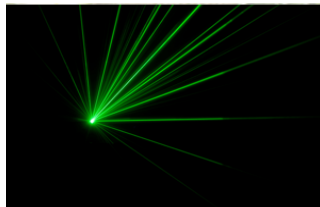
鳥獣たちが**慣れてしまい**、効果が継続しない。
里山崩壊により、畑に出現する**動物の種類と数**が増えて対策が追い付かない。
少子高齢化により猟師や鷹匠等の専門家の数が減った。



かかしという文化は残しつつ、これらの問題点を克服できないか？

これからの時代にスマートかかし！

鳥獣の慣れと種数の増加に対応した製品



逃げまるくん
動物が本能的に目をまろうとする習性をいかしてレーザー光で撃退

少子高齢化による専門家の減少に対応した製品



Robirds
鳥の天敵をリアルに模倣したドローンで生存本能を刺激して撃退

長期的な効果は？最適な使い方は土地ごとに違うかも...



AI（人工知能）と生体センサを搭載！
カメラなどで鳥獣の種類や行動パターンを把握
逃げまるくんやRobirdsなどの効果的な使い方を
AI自ら学習



TPOを支配して新たな土地の守り神へ進化せよ！

参考文献

害獣対策 逃げまるくん <https://gaijyu-nigemaru.jp/>
鳥被害を防ぐリアルな鳥型ロボット「Robirds」 <https://bouncy.news/2289>
案山子-新日本風土記-NHK <https://www.nhk.or.jp/fudoki/161021broadcast1.html>
かかし-Wikipedia <https://ja.wikipedia.org/wiki/かかし>



AIとセンサフュージョンで守護神創造
生物生産システム工学
門田充司 難波和彦